

「学習の森」を東に向かって10分ほど歩くと、崇台山の登山口に着きます。

里山の花畑を横に見ながら竹林の中の小道を進むことさらに約10分。道は、地元有志によりきれいに整備されています。

直線の道を抜けると広い山頂に到着します。眺望は良く、赤城・榛名・妙義山の上毛三山をはじめ浅間山、西上州の山々や八ヶ岳、また遠くには筑波山も望むことができます。



山を下りながら、今度は花畑に少し寄ってみます。ちょうど日も傾きかけたころ、フジバカマの花のまわりを「海を越えて旅をするチョウ」、アサギマダラが飛んでいました。

花畑の整備を行っている桜田さ

空気が澄んでくるこれからの季節、一層きれいな景色が見られることでしょう。

山頂には木製ベンチもあり、一息つくことができます。10月下旬の取材日も、市内外を問わず、毎日のように登っているという人に何人も出会いましたが、皆さん口々に「手軽に登れるのに景色が素晴らしい」「四季折々の草花が見られる」と、崇台山の魅力を話してくれました。



崇台山の大桐

んによると、この時期に多く訪れるらしく、羽を休める姿を真剣に撮る人の姿も見られました。

辺りには、フジバカマのほかにもこの時期ならではの草花だけでなく、花畑の先には市指定景観重要樹木となった大桐もあります。

これからの季節、花畑はしばらくの間、整備が中心の「オフシーズン」となりますが、それまでは山の景色を見て、また春をお楽しみに、とのことでした。



友の会会員特製の木製ストラップとミニ折り鶴。運良く作った人に出会えば、もらえるかも？



「里山の花畑・里の小屋友の会」 代表世話人、桜田稔さん

この花畑は、10年ほど前から地域住民を中心とした「里山の花畑・里の小屋友の会」が荒地の整備をすすめ、近年は、もともと自生していた草花を移し替えたり、新たに持ち寄ったりして、四季の草花を育てています。

ここだけでなく、安中市にはいろいろな「見どころ」がある、ということを知ってもらいたいですね。これからもほかの団体とも協力して、市のイメージアップのため活動していきます。